

焼付・常温型ソフトフィール塗料を開発

久保孝ペイント

久保孝ペイントは焼付・常乾の両方に対応するソフトフィール触感塗料「ソフタッチ」を開発し、高汎用クリヤー塗料として市場展開を本格化させる。金属、プラスチックと幅広い素材適性を有することから、同社では医療・介護用器具や自動車部品、家電、パソコンなど幅広い用途での採用に期待する。

同品は、塗装品に触り心地の良さを付与する機能性塗料で、従来の塗装仕上げと異なる触感及び質感が得られるのが特長。特に触感においては、さらさらと絹のような触感が得られる「シルキータイプ」としっとりとしたゴムのような触感が得られる「ラバータイプ」の2種類をラインアップし、商品特性やエンドユーザーの嗜好性によって異なる2種類の触感塗料を開発した。

既に触感性を付与した塗料は同業他社が先行投入しており同社は後発に位置する。そこで差別化を明確に打ち出すために着手したのが、1液焼付型製品の開発。「常乾型は先行製品が出ているが焼付タイプは当社が初と自負している」(担当者)と、ABSやPC/ABSといったプラスチック素材からSPCC、A5052P、Mg合金などの金属素材に対応するとして幅広い用途での採用に期待感を高めている。更に従来のソフトフィール塗料の難点だった塗膜の加水分解性においては、基体樹脂を変更することで耐加水分解性、耐候性を付与。耐湿性(50℃、RH98%以上)は1,000時間を確保するなど、その他

の基本スペックにも対応した。

1液焼付型の塗装仕様は、従来の焼付カラーベースの上に「1液焼付型ソフタッチ」(150℃×20分)を塗装。一方、2液常温型の塗装仕様は従来の2液常温型カラーベースの上に「2液常乾型ソフタッチ」(60℃×30分程度)を塗装可能。また、ABS、ABS/PCなどのプラスチック素材には1コートで塗装も可能。いずれもトップコートの膜厚は30~40 μ m、塗装方式はエアスプレーに対応。

透明樹脂に塗布すると、カラークリヤーの意匠性が得られるなど容器分野への展開も視野に入れる。昨年出展した展示会でも好評を得ており、手軽に触感が付与できる汎用クリヤー塗料として、メーカー及び塗装専門家への提案を積極化していく意向を示す。

素材にあたたかさを。

新触感 塗料「ソフタッチ」

あらゆる素材に対応し、多彩な質感を体現することのできる
高汎用性クリヤー塗料です。

選べる触感

シルキータイプ

ラバータイプ

さらさらと絹のような触感

しっとりとしたゴムのような触感

特徴

- ① 好みに応じて 触感が選べます。
- ② 素材に応じて 乾燥条件が選べます。
- ③ 優れた耐加水分解性・耐候性[※]を有します。

※従来のソフトフィール塗料と比較して

人と環境をやさしく彩りたい

久保孝ペイント株式会社

本社・工場

〒533-0031 大阪市東淀川区西深江3丁目15番27号
TEL (06)6815-3111 FAX (06)6323-5881
<http://www.kuboko.co.jp>